

私の一冊

功力靖雄

「アマチュア野球教本 攻撃のマニュアル」

功力靖雄著（ベースボール・マガジン社）

〔体芸図 783.7-Ku48-3〕



この本は“アマチュア野球教本”シリーズ（4巻完結，未完『試合のマニュアル』）の3巻目にあたる。その第1巻は1991年（平成3）に『練習のマニュアル』を，第2巻は1997年（平成9）に『防御のマニュアル』を既に出版している。

今回，刊行の『攻撃のマニュアル』は，著者の主張する革新的な野球理論の妥当性を検証するため，“指揮官先頭”で自ら本学硬式野球部の監督に就任して，首都大学リーグで過去22年間・43シーズンにわたり戦ってきた，各種のノーハウ（秘訣）を余すところ無く披瀝したものである。

幸いにも，その戦績はリーグ優勝3回，“大学日本一”1回（1987年秋），首位打者3名，日本代表選手5名，プロ野球入団4名，（ドラフト1位指名1名）などと多数の成果を挙げて，“首都の雄・筑波大野球部”の名を天下に轟かし，文武両道のモデル校と呼ばれるまでに育て上げた。

本書の特徴は，“攻め”の局面を確率論の立場から，各攻撃法の可能性と着眼点を究明して，

機動力の駆使，特にエンドラン戦法や多様なトリック的盗塁攻撃などの“足攻め”を中心にして，

具体的な運用上の留意点を明らかにすると共に，攻撃プレイの評価法でチェック，即ち116項目の観点から瞬時にプレイ結果の良否を採点していき，ゲーム中の活躍ぶりを個人毎にそれぞれ攻撃貢献度の点数として算出する，の3点にある。

そして各項目の最後には【ポイント】として，特に強調すべき事柄や指導上の留意点などを追加して，著者の主張が理解できるように努めた。

また，現場での実技指導やゲームの采配に役立つような，長年にわたって蓄積してきた門外不出の貴重なデータ類も，各種の図や表に纏めて【参考資料】と名付けて，多彩で豊富な打撃や走塁の連続写真と合わせ，初めて公開している。

（くぬぎ・やすお 体育科学系教授）

箭野育子

「骨・関節・脊椎に疾患をもつ人への看護」

箭野育子著（中央法規出版）

〔医学図 492.936-Y58〕



本書は，主に整形外科領域の患者に焦点をあてた看護の実践書である。

整形外科の診療の対象となる疾患は，筋・骨・関節や靭帯・腱，さらには血管・神経系など，身体の姿勢保持と運動機能に直接関与するものが多い。

運動機能の障害はその人の「生活」に直接影響する。障害が一時的なものであっても，障害を受